学校番号	110

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	世界史探究（東京書籍）						
副教材等	グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社） 新世界史研究ノート応用編（株式会社啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

３年次の世界史探究は、中世から近代と呼ばれる 19 世紀ごろの世界の歴史を様々な文献や資料を活用しながら学びます。中世以降の世界の歴史は、２年生で学んだ内容以上に各地域やそこに暮らす人々の経済的・文化的な結びつきが一層進展していく時代です。そのため、世界史探究では、習得した知識を活用しながら各地域のつながりや事象の背景を考える力が求められます。授業では、以下のことを意識しながら取り組んでください。

●知識の習得だけでなく、知識の活用や出来事について自ら考えを深める。
●資料や文献などから情報を読み取り、根拠を示して自分の意見をまとめる。
●他の人と議論や知識・意見の比較などを通して、現代社会や世界のあり方を考察する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切・効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移・比較・相互の関連・現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○歴史の大きな枠組みと諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ○諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。	○歴史の枠組みと展開に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、推移・比較・相互の関連等に着目し、多面的に考察したり、課題の把握や解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察した内容をまとめたり、説明した内容をもとに議論したりすることができる。	○世界の歴史の諸事象について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 ○学習内容と現代世界とのつながりを、身近な題材をもとに考えようとしている。 ○国家および社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に考察しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第9章　中華世界の変容とモンゴル帝国	1. 唐崩壊後の東アジア 2. 宋代の新展開 3. モンゴル帝国 4. 元の成立	a:宋の成立からモンゴル帝国の成立と拡大、元の成立までの知識を習得するとともに、それらを基に海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 b:諸地域の交流の広がりに関わる事象の背景や原因、結果や影響、事象や諸地域のつながりなどについて、諸資料を比較したり関連付けたりして必要な情報を的確に集め、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的に考察し、表現している。 c:中華世界の変容とモンゴル帝国の内容を、見通しをもって学習を進めようとしている。また、自ら学習内容を振り返り、学びを深めている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	第10章　インド洋海域世界の発展と東南アジア	1. イスラームのインドとインド洋海域への浸透 2. 海と陸の結合―東南アジア世界の発展	a:インド洋海域世界と東南アジアの発展に関する知識を習得するとともに、諸地域の交易の進展を構造的に理解している。 b：諸地域の交易に関わる事象の背景や原因、結果や影響、様々な事象や東南アジア諸地域のつながりなどについて、諸資料を比較したり関連付けたりして必要な情報を的確に集め、インド洋海域世界と東南アジアの発展などを多面的・多角的に考察し表現している。 c:インド洋海域世界の発展と東南アジアの内容について見通しをもって学習に取り組もうとしている。また、自ら学習内容の振り返りや現代世界との比較を行うなど、学習内容を深めている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第11章　大交易時代と世界の一体化	1. アジア交易圏の再編と活況 2. ポルトガルのアジア進出 3. 明と日本・朝鮮の動向 4. 一体化に向かう世界 5. 大交易時代の世界	a:アジア海域での交易の発展、明・日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などに関する知識を習得するとともに、アジア海域での交易の進展とヨーロッパの進出の背景やその影響を構造的に理解している。 b:アジア海域での交易と西欧諸国の進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象のつながりなどに着目し、諸資料を比較したり関連付けたりして必要な情報を的確に集め、アジア海域での交易の特徴・ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴・アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:交易がアジア・ヨーロッパ諸国にもたらした影響、大交易時代と現代の「世界の一体化」の類似点や相違点の検討などを通して、自ら学習内容を深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	第12章　ユーラシア諸帝国の繁栄	1. 中央アジアと西アジアの繁栄 2. インドの大国―ムガル帝国 3. 清と東アジア	a:中央アジア・西アジア・南アジアの諸帝国、清・日本・朝鮮などの動向に関する知識を習得するとともに、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 b:アジア諸地域の動向に関わる事象の背景や原因、結果や影響、事象のつながりなどに着目し、諸資料を活用して必要な情報を的確に集め、各地に成立した帝国の統治の特徴、経済・社会・文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的に考察し、表現している。 c:ユーラシア諸帝国の内容について、諸地域の特色を比較して学習に取り組んでいる。また、16 世紀から 18 世紀にかけてのアジアの諸帝国の様子と、現代の同地域とを比較し、諸帝国のもとで発展した社会や文化の影響について調べ、学びを深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第13章　主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	1. 主権国家群の形成と宗教改革 2. オランダの繁栄と英仏の国家形成 3. 商業覇権と植民地建設 4. 啓蒙専制国家の発展 5. 近世ヨーロッパの社会と文化	a:宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、思想における大変革(科学革命・啓蒙思想）などについて知識を習得するとともに、主権国家体制の形成と交易の地球規模での拡大を構造的に理解している。 b:ヨーロッパ諸地域の動向に関わる事象の背景や原因、結果や影響、事象のつながりなどについて諸資料を活用して収集した情報をもとに宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的つながりの特徴、主権国家の特徴と経済活動との関係、ヨーロッパ社会や文化の特色などについて多面的に考察し、表現している。 c:主権国家について、これまで学習した王国や帝国、現代の国家などと比較して、その特徴を把握しようとしている。また交易の拡大の様子を視覚的に表現するなど、学習内容を主体的に深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第14章　国民国家と近代社会の形成	1. 産業革命と工業化 2. アメリカ合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 3. フランス革命とウィーン体制 4. 自由主義の台頭と新しい革命の波 5. 19 世紀後半のヨーロッパ諸国 6. 南北アメリカの展開	a:産業革命と環太平洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争に関する知識を習得するとともに、国民国家の成立などをはじめとする社会の変容や社会の特徴を理解している。 b:アメリカ大陸の動向と西欧における革命の背景や原因、事象のつながりに注目し、諸資料を活用して必要な情報の収集や解釈を行い、18 世紀後半から 19 世紀なかばにかけて起こった革命の意義を考えることができる。また、自由主義やナショナリズムの特徴、南北アメリカの変容などを多面的に考察し、考えをまとめている。 c:学習内容をもとに現代世界でのナショナリズムと社会との関連について調べるなど、過去と現在とのつながりに関心を寄せている。また、産業革命による社会や人々の生活の変容について考え、本単元での学習内容を主体的に深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	第15章　世界市場の形成とアジア諸国の変容	1. 産業資本主義の世界への波及と欧米社会 2. 西アジアの危機と改革の始まり 3. 南アジア・東南アジアの植民地化 4. 清における開発の限界と二つのアヘン戦争	a:産業革命の進展にともなって生じた社会経済的な変化（国際的分業体制の確立、労働力の移動、自由貿易体制の成立、植民地化など）に関する知識を習得するとともに、市場形成と植民地化の関連を把握することができている。 b:世界市場の形成とアジアの植民地化の進展について、背景や原因、地理的要因の影響、結果や影響などに着目して考えを深めている。また、諸資料の収集・比較・解釈を通して、人々の国際移動の様子やその背景、イギリス覇権の特徴、各地域の変容の特徴について多面的に考察し、考えをまとめている。 c:当時の植民地支配が現在の旧植民地や宗主国の社会や経済に与えた影響や当時の世界市場の規模などを調べたり、考えたりして、学習内容を深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

後期	第16章　アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	1. 列強の覇権争い 2. 西アジア・中央アジアの変革 3. 南アジア・東南アジアの民族運動 4. 清の体制転換と近代国家建設の模索	a:第二次産業革命と帝国主義の成立、帝国主義の進展により生じた民族運動や清朝の変容に関する知識を習得するとともに、帝国主義下のアジア諸地域の様子を把握できている。 b:列強の対外進出が生じた結果やその影響、産業革命との関連、諸地域への影響などに注目し、諸資料の収集・解釈・比較などを通して、世界経済の構造的な変化、列強の政策の共通点や相違点、帝国主義とナショナリズムとのつながりなどについて多面的に考察し、考えをまとめることができている。 c:当時の世界分割が現代世界に与えた影響や課題について、学習した内容と諸資料を活用して自ら考えを深めている。また、課題の解決の考察を通して、よりよい世界のあり方について考えようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	第17章　第1次世界大戦の展開と諸地域の変容	1. 第一次世界大戦 2. ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 3. 大戦後のアメリカ合衆国とヨーロッパ 4. アジア・アフリカでの国家形成の動き	a:第一次世界大戦中の革命（ロシア革命・ドイツ革命）、大戦後の国際秩序形成、列強の勢力図の変化、アジア・アフリカでのナショナリズムの高まりなどについて知識を習得するとともに、第一次世界大戦前後の国際関係を構造的に把握している。 b:第一次世界大戦前後の諸地域の動向に関わる事象の背景や原因、事象の影響やつながりなどを、諸資料を活用して考察し、考えをまとめたり、表現したりすることができている。特に、アメリカの台頭や国際協調体制成立の背景、ナショナリズムが高揚した地域の特徴などについて多面的に考察している。 c:単元での学習内容をもとに、当時の人々に世界規模の戦争が与えた影響について考えようとしている。また、学習内容をもとに現代の戦争が私たちに与える影響や課題の解決などについて自ら考えようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第18章　国際協調体制の動揺と第二次世界大戦	1. 世界恐慌と政治･経済の変容 2. 国際協調体制の動揺 3. 第二次世界大戦の開戦と展開 4. 戦後秩序構想と冷戦の形成	a:世界恐慌とイタリア・ドイツ・スペインなどでのファシズムの動向、国際関係の緊張と対立などについて知識を習得するとともに、当時の国際関係の概要を構造的に理解している。 b:世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる事象の背景や原因、結果や影響、事象のつながりなどに注目し、諸資料から必要な情報を収集し、世界恐慌に対する諸国の対応策の共通点や相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的に考察したり、表現したりしている。 c:第二次世界大戦が生じた原因を、当時の国際関係・経済的な要因などに注目して、多面的に自ら考えようとしている。また、各国の為政者が市民に対して行った政策や、一般の市民の反応などについて調べ、戦争と政治とのかかわりについて考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート ﾌﾟﾘﾝﾄ課題 ワーク等

	第19章　第二次世界大戦と戦後の東アジア	1. アジア・太平洋戦争と日本の敗戦 2. 帝国の解体と分断国家の形成 3. アジア諸国の独立と脱植民地化 4. 朝鮮戦争と東アジアの「冷戦」	a：第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序形成、アジアへの冷戦構造の拡大と植民地の独立運動などについて知識を習得するとともに、地理的なイメージとともにアジアの動向を把握することができている。 b：第二次世界大戦中・戦後のアジア諸地域の動向について、結果や影響、事象のつながり、地域間の類似点や相違点などについて、諸資料の活用して考察し、自分の意見をまとめている。また、アジア諸国の地理的な特徴を多面的に考察できている。 c：第二次世界大戦後のアジアの動向が、ヨーロッパをはじめとする国際関係の動向とどのようにつながっていたのかを、これまでの学習内容を振り返って考えようとしている。また、当時のアジアの動向が日本に与えた影響に注目し、現代日本への影響を考えようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

	第２０章　冷戦の世界化と国際制度	1. 冷戦と政治･経済秩序 2. アジア･アフリカ諸国の独立と第三勢力 3. 平和共存と社会主義圏の多極化	a:冷戦構造の世界化にともなう諸事象の展開（集団安全保障機構の成立、第三勢力の登場、平和共存と多極化､南北問題など）について知識を習得するとともに、紛争解決・格差是正の取り組みと課題などについてまとめることができている。 b:国際機構の形成と紛争､国際競争の展開と経済格差などに関わる諸事象について、その背景や影響、事象のつながりを諸資料を活用して考えることができている。また、各国（各地域）の経済構造や産業基盤の違い、経済成長を実現できた要因や政策などについて多面的に考察することができている。 c:冷戦の世界化と国際制度の成立と変容について､自ら学習なようを振り返り学びを深めている。また､この当時の国際制度が現代世界にどのような影響を与えているかについて考えようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート ﾌﾟﾘﾝﾄ課題 ワーク等

	第21章　冷戦の変容・終結と経済のグローバル化	1. アメリカ合衆国の覇権の動揺と冷戦の変容 2. 冷戦の変容と世界の諸地域 3. 冷戦の終結とその後の世界 4. アメリカ合衆国の復調とグローバル化	a:冷戦構造の変容と終結、地域紛争の頻発、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムと産業構造の転換、南南問題、経済のグローバル化、原子力の利用などを基に、紛争解決・格差是正の取り組みと課題などについて知識を習得している。 b:国際機構の形成と紛争、国際競争の転換と経済格差、科学技術の発展と知識基盤社会に関わる諸事象について、歴史的背景や要因、結果や影響、事象のつながりなどに注目し、諸資料を活用して考えを深めることができている。また、冷戦下と冷戦後の紛争解決の類似点と相違点、紛争と経済・社会の変化との関連性、地域間の経済格差の現状とその要因などについて多面的に考え、自分の意見をまとめることができている。 c:「経済のグローバル化」について、身近な生活をもとに具体的なイメージを持つことができている。また、冷戦構造と現代の国際関係を比較し、類似点や相違点を把握しようとしている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等
	第22章　21世紀の地球的課題と人類社会	1. グローバル化にともなう世界の変容 2. 地球的諸課題 3. 新たな秩序変容	a:地域紛争の頻発、経済のグローバル化・原子力利用や科学技術などの進展と課題について知識を習得している。 b:現代世界の地球的諸課題について、学習内容をもとにその要因や背景、結果や影響、課題の解決方法について考え、自分の意見をまとめことができている。また、紛争や経済格差が政治や経済に与える影響、現代の科学技術や文化の歴史的な特色、科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化とのつながりなどについて多面的に考察し、考えを表現することができる。 c:現代の地球的課題と人類社会について、自らの学習を振り返り、学びを深めている。	定期考査 小テスト ワーク等	定期考査 提出ノート ワーク等	提出ノート プリント課題 ワーク等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度